

2025 年 12 月期 第 3 四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問内容をまとめました。決算短信及び決算補足説明資料と併せてご覧ください。

1. 業績見通し

Q1: 2025 年 12 月期通期の当期利益見通しが 8 月発表予想の 3,700 億円から 3,900 億円（+200 億円、+5.4%）へと上方修正された背景は？

第 3 四半期における堅調な生産・コスト最適化等による。原油価格及び為替の前提条件を見直したことによる外部環境要因で△5 億円の減益を見込む一方、

A1: 第 3 四半期実績が 8 月時点予想に対して 190 億円上振れしたこと等の事業要因に基づく増益 205 億円を見込むことから、8 月発表予想の 3,700 億円から 3,900 億円へと上方修正を行った。

2. 株主還元

Q1: 第 2 四半期決算発表時の 800 億円に加えて、今回の第 3 四半期決算発表時に追加で 200 億円の自己株式の取得を決定した理由・背景は？

今回の第 3 四半期決算内容に基づき、総還元性向の水準（現中期経営計画目標：50%以上）、成長投資との資金配分のバランス、アバディ開発準備資金の確保状況等を総合的に勘案して決定した。なお、中期経営計画でお示した株主還元方針に変更はない。

3. イクシス

Q1: イクシスのシャットダウンメンテナンスは完了したのか？

補足説明資料 p.15 をご覧頂きたい。

2025年12月期 第3四半期 イクシス出荷カーゴ数

INPEX

8月中旬からシャットダウンメンテナンスを実施し9月末まで生産停止期間が続いたことから、9月の出荷は無し。
9月末よりTrain1が生産再開し、Train2は予定よりも若干の遅れはあったものの11月初旬より生産再開済み。メンテナンス作業は全て完了している。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
LNG	11	104	122	117	112	129	116
プラントコンデンセート (陸上)	1	19	22	21	21	23	20
フィールドコンデンセート (海上)	4	29	34	32	29	29	28
LPG	2	27	34	32	30	34	30

2025年度 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
LNG	11	10	9	11	12	12	12	8	-	5	-	-	90
プラントコンデンセート (陸上)	2	1	2	2	2	2	3	1	-	1	-	-	16
フィールドコンデンセート (海上)	2	3	2	3	3	3	3	2	-	1	-	-	22
LPG	3	3	2	3	3	3	4	2	-	1	-	-	24

Copyright © 2025 INPEX CORPORATION. All rights reserved. 15

Q2: イクシスの第 3 四半期累計利益と通期の利益貢献額見込みは？

A2: 第 3 四半期におけるイクシスによる利益貢献額（セグメント利益）は 1,811 億円（前年同期は 1,966 億円）。

通期では約 2,600 億円を見込む（8 月時点での見込みは約 2,500 億円）。PRRT 税効果見通しアップデートによる増益が、シャットダウンメンテナンス遅延による減益を上回った格好。

4. アバディ

Q1: プロジェクトの進捗状況と今後の見通しは？

2025 年 8 月より FEED（Front End Engineering Design。基本設計を指す）フェーズに移行。FEED 作業は順調に進行中。洋上生産出荷施設（FPSO）及び天然ガス液化プラント（LNG プラント）に関しては Dual FEED 方式を採用。

A1: FEED を実施し、その結果十分な投資可能性ありと判断した場合は FID の上、EPC（Engineering, Procurement and Construction。詳細設計・資材調達・建造）を実施する。一般的に FEED 及び EPC テンダーには 2 年程度、EPC には 5 年程度を要し、当社としては 2027 年中の FID、2030 年代初頭の生産開始を目指していく。

Q2: Dual FEED とは何か？ どのような理由/狙いで採用するのか？

「Dual FEED」とは 2 つの企業連合に同一のスキープの FEED を実施させるもの。LNG プラントと FPSO については当プロジェクトの中核となる施設・設備であることから、コントラクターマーケットがタイトな中での競争環境維持を目的として採用。基本設計作業と EPC を同一のコントラクターに発注することを基本方針としており、技術的かつ商業的に優れた基本設計等を行った企業連合を EPC コントラクターとして選定する予定。

但し、今回の契約はあくまで FEED に限定したもの。当然のことながら、他パッケージも含め、FEED 作業を踏まえたプロジェクト全体についての総合評価を行った上で投資判断（FID）を行う。まだ EPC への移行を決定したわけではない。

2025年12月期 第3四半期 アバディLNG アップデート

INPEX

アバディLNGは8月よりFEEDフェーズに移行。FPSOとOLNGについてはDual FEEDを実施し、競争力を担保。EPC費用はFEEDを通じて算出するが、上流は手元資金、下流は外部借入にて調達予定。

A2:

FEED対象*1	SURF (海底生産施設)	FPSO (洋上生産出荷施設)	GEP (FPSOからOLNGまでの 海底パイプライン)	OLNG (天然ガス液化プラント)
上流/下流	上流			下流
FEEDコントラクター (究極親会社)	Worley (豪)	① Technip (仏)、日揮(日) ② Saipem (伊)、Tripatra (尼)、McDermott (米)	Worley (豪)	① 日揮 (日)、Technip (仏) ② KBR (米)、Samsung (韓)、 PT Adhi Kara (尼)
EPCコントラクター	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定
EPCファイナンス	手元資金*2			外部借入(TBS*3)

FEED費用（FEED期間中の作業費・管理費等）：4パッケージ合計で約10億ドル（プロジェクト100%ベース）

EPC費用：正確な費用はFEEDを通じて算出する

*1 CCSについては、4つのパッケージのいずれかが単独でFEED作業を行うのではなく、各パッケージがそれぞれ所掌するCCS関連施設のFEED作業を行う

*2 当社最終利益保有比率見込み約50%。かつEPC費用総額のうち50%（上流分）を手元資金でまかなう場合、アバディ開発準備資金として少なくとも6,000～8,000億円を積み立てる計画

*3 生産物分与契約であるためProject Financeではなく、類似のTrustee Borrowing Scheme (TBS)を活用

Copyright © 2025 INPEX CORPORATION. All rights reserved. 3

以上

注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。